

# 〔翻刻〕狂言名寄・内外間名寄（山口県立大学蔵）

稲田 秀雄

以下に翻刻するのは、山口県立大学蔵『狂言名寄・内外間名寄』（仮題）である。はじめに、簡単な書誌を記す。

写本一冊。寸法、縦一五、〇センチ、横二二、五センチ。料紙、極紙。折紙綴。表紙は本文共紙。後表紙は半分破損。全十三丁（遊紙なし）。表紙に「狂言名寄／付り衣装人数付／付り物付小舞名寄／内外間名寄／山本性」と記す。内題なし。印記なし。冒頭一丁分を欠失するか。奥書に「天保三壬辰／正月吉祥日写之／山本甚三郎／直義（花押）」とある。

本書の書写者である山本甚三郎については未調査であるが、山本姓であることからして、長州藩狂言方の山本弥八（甚五兵衛）家に関係する人物の可能性があろう。

本書は次のような内容からなる。

①狂言名寄及び人数・装束付（一オウ八オ） 脇狂言五曲、髯事十一曲、大名事十二曲、出家事十三曲、鬼事七曲、女事十曲、山伏事七曲、末之部六十六曲、珍敷狂言十六曲、追加四曲、計百五十一曲の狂言曲名・所要人数・装束付を記す。冒頭の脇狂言の分がわずかに五曲しかなく異常に少ないのは、一丁分ほどの欠失があるためか。内容的には、一見して、鷲伝右衛門派の名寄と考えられる。宝暦名女川本『萬聞書』所収「享保九年狂言方四家書上」のうち鷲伝右衛門家の分（以下、「享保九年書上」とする）と比較すると、曲名の配列はおおむね一致する。ただし、右に記したように、本書では、「享保九年書上」にあった「麻生」から「福の神」までの脇狂言十四曲分の記載を欠く。また、鬼事に「ぬけがら」を欠くこと、末之部に「仏師」を欠き、「いろは」「花争」を追加すること、珍敷狂言に「鞠座頭」「水汲新発知」「釣針」「鏡男」の四曲を追加することなどが、「享保九年書上」との主な相違点である。なお、

本書末之部に追加された「花争」は、「享保九年書上」では「右ノ書上ノ内ニ無之相勤来候分」として末尾に記されていた十一曲の中にあつたものであり、珍敷狂言に追加された「鞠座頭」以下の四曲も、同じくその十一曲中に含まれていた分である。

②狂言名寄（八ウー九ウ） 百二十六曲（九オ五ー六行「茶かぎ」「座頭」を一曲とすれば百二十五曲）の狂言曲名を記す。稀曲を中心としたもの。「付ヶ双六」「浜名納豆」「も、け」など現存しない珍しい曲名も見え、それらの珍曲も含めて、全体的に宝暦名女川本『萬聞書』所収「惣狂言目録」と重なる曲名が多い。

③小舞名寄（九ウー十オ） 六十曲の小舞曲名を記す。

④内外間名寄（十オー十三ウ） 脇能語間二十曲、脇能末社三十一曲、修羅語間十九曲、鬘類（雑を含む）九十七曲、応言類百五十三曲、計三百二十曲の能曲名（脇能末社の「猿髯」と修羅語間の「那須」は、替間の名称で、能曲名ではない）を記し、曲によつては間狂言の習等に関する細字の注記を施す。番外曲の曲名も多い。このうち、応言類の「武王」から「りうき」までの曲名十三オ四ー九行。ただし「巻衣」を除くが、大蔵虎明本方集類に見えることは注目される。

鷲伝右衛門派の名寄であるとともに、人数・装束付を記すのが珍しく、小舞及び間狂言の名寄も伝右衛門派のものとして興味深い。詳しい考証は後日を期したいが、筆者が編纂に加わつた『山口鷲流狂言資料集成』（山口市教育委員会、平13）に収めることができなかつた資料でもあるので、この機会に翻刻・紹介することにした次第である。

〔凡例〕

- 一、できるだけ原本に忠実に翻刻することとしたが、読解・印刷の便宜上、以下のような措置を施した。
- 一、漢字についてはおおむね新字体に統一したが、一部異体字についてはそのままにした箇所もある。
- 一、句読点の類は一切施していない。ために判読しづらいところもあるが、御容赦を願う。
- 一、改行は原本の通りとした。
- 一、①の人数付は、原本では、曲名の右横下部に記されているが、印刷の便宜上、曲名の真下に記すことで統一した。
- 一、原本に施された振り仮名はそのまま翻刻したが、誤写もしくは極端な当て字により、意味の取りにくい字については、正しい字を（ ）に入れて傍記した。
- 一、難読の字については「■」で示した上で、注を施し、当該字体についての説明を記した。
- 一、汚損等により判読不能の字は「□」で示した。
- 一、①の曲名には、多く朱点または朱の丸印が付けられている(何を意味するかは不明)。朱点は「・」、朱丸印は「○」、朱点と朱丸印が二つとも記されている場合は「◎」を用いて、それぞれ示した。
- 一、②③④の曲名にも朱点が施されている場合がある。これも右と同様に「○」で示した。

〔翻刻本文〕

狂言名寄

付り衣装人数付

付り物付小舞名寄

内外間名寄

山本性

(表紙)

・鎧 三人 シテ装束熨斗め狂言上下主士烏帽子素襖

少刀扇売手同し長上下ニても作り物書

・宝の槌 三人 装束同し作り物太鼓ノ撥

・隠笠 三人 装束同し作り物塗笠

・牛馬 三人 装束同し作り物竹杖

・筑紫輿 三人 装束同し作り物簀木ノ葉等指テ

脇狂言

但式番目ニモ髯事

○八幡前 四人 シテ装束士烏帽子素襖熨斗め少刀扇舅

同し太郎熨斗め狂言上下腰帶扇教手

同し長上下ニても作り物弓矢

◎庖丁髯 五人 シテ士烏帽子着流し素袍ノ下腰ニ付出ル

少刀扇舅同女何れも同教手同作り物真な

板庖丁真な箸書紙

岡太夫 四人 シテ装束常之通舅同シ太郎同し女同シ

作り物台白ク絹ニて餅

○水懸髯 三人 シテ狂言上下熨斗め腰帶アト同し女

同し作り物スキクワ

○二人袴 四人 シテ装束士烏帽子着流シ扇腰帶兄同し

腰ニ長上下ノ下斗リ付出ル舅何れも同し

太郎同シ噺子笛大小太鼓

〔一オ〕

郎同シ猿廻シ熨斗め狂言上下但羽織ニても腰ニ赤熊幣打杖猿装束何れも同シ

〔一ウ〕

・音曲躰 四人 シテ装束土烏帽子熨斗め素襖少刀扇  
舅同し太郎同教手同し

舅同し太郎同教手同し

○秀句傘 三人 シテ大臣烏帽子厚板素袍少刀扇下ニ白練  
下袴太郎同シ通リて同シ作り物傘一本  
いつるなり

◎庭鳥躰 四人 同し後ニシテ舅ハ土烏帽子ト劔先トカヘル

懷中躰 四人 笛大小太鼓シテ舅装束同シ太郎同教手  
同し作り物弓斗台ニすゑ出す

○宮城野 三人 シテ大臣烏帽子素袍厚板少刀扇太郎同シ  
亭主熨斗め長上下少刀扇机床

引敷躰 四人 噺子同シシテ土烏帽子熨斗め素襖上斗  
亦素襖ノ上ヲ袴ニして着ル作り物引敷狩場  
の時入ル道具也寸法伝授也

○今参り 三人 シテ同太郎同シ今参劔先烏帽子狂  
言上下脚伴机床

○渡し躰 三人 シテ狂言上下脚半腰帶舅狂言上下腰帶  
コクソ頭巾髪須大シヤクコシサス女同し  
作り物樽包棹

○入間川 三人 シテ同下ニ白練下袴太郎同太刀持テ出ル川向  
熨斗め長上下少刀扇

・幸（マツ）の目 六人 シテアト式人装束熨斗め狂言上下腰帶舅  
舅何れも同し太郎同女同カツキヲ冠リ  
出ル也

○鼻取相撲 三人 シテ同シ太郎同シ太刀無し通リ手同シ  
作り物土器ニコヲヨリヲ付出ル

○粟田口 三人 シテ大臣烏帽子厚板素袍少刀扇太郎何れも同  
粟田口熨斗め狂言上下腰帶脚半作り物書机  
床出ル也

○文相撲 三人 シテ同太郎同通リ手同シ作り物書紙

式番目 大名事

○蚊相撲 三人 シテ同太郎同通リ手同シ

○墨塗 三人 シテ同太郎同女美男帽子作り物鏡猪口  
式ツ一ツへ墨一ツ水

○鞆猿 四人 シテテク、リ頭巾長上下厚板少刀扇下ニ（編伴）  
輕棧努瓢右ノ腰ニ付右ノ手に弓矢持出ル太

○二人大名 三人 シテアト二人共ニ大名同太刀持出ル通リ手同シ

○鷹大名 三人 シテ同太郎同売手熨斗め長上下作り  
物切足膳羽ホウキふくき一ツ

輕棧努瓢右ノ腰ニ付右ノ手に弓矢持出ル太

物切足膳羽ホウキふくき一ツ

三番目 出家事

○釣狐 式人 シテ装束 口伝

〔二一〇〕

◎花折 人数事 シテカウシ頭巾編綴無地熨斗め狂言袴

腰帶扇アト黒シユス頭巾衣無地熨斗め

中ケイ亦アト熨斗め長上下扇何れも同し

作り物花

○宗論 三人 シテ無地熨斗め編綴角頭巾狂言袴脚伴

扇スケ笠珠数アト無地熨斗め水衣狂言

袴腰帶扇珠数塗笠カウシ頭巾亭主

熨斗め長上下少刀扇

泣尼 三人 シテ前角頭巾着流シ後色裳七丈ノケサ

枝香炉持出ルニ面箔ハナノ帽子アト熨斗め

長上下少刀扇作り物台経箱

大磐若<sup>(テ)</sup> 三人 シテ無地熨斗め角頭巾裳珠数扇中啓

神子カツラ箔女帯白ねり鈴黒骨末広亭

主熨斗め長上下少刀扇囃子笛小鼓

○腹立す 三人 シテ無地熨斗め角頭巾裳珠数扇アト式人同し

・骨皮 人数 シテ無地熨斗めカウシ頭巾水衣カ編綴カ狂

言袴腰帶扇住寺無地熨斗め角頭巾

裳珠数中啓着流シアト三人同し作り物傘

○地蔵舞 式人 シテ無地熨斗め前ニ同し管笠囃子

笛斗り

・薩摩守 三人 シテ同シアト熨斗め狂言上下茶ヤ長上ニても  
作り物竹杖

〔二二一〕

・金津 人数事 囃子笛大小シテ

◎仏師 式人 コウシ頭巾無地熨斗め編綴狂言袴腰帶シ

テノ分アト熨斗め長上下面

○名取川 式人 シテ無地熨斗め角頭巾水衣カ編綴カ狂言

袴腰帶珠数扇笠アト熨斗め長上下囃子

笛大小

◎布施無経 式人 シテ同着流シ角頭巾裳袈紗珠数中啓

アト同し作り物竹四寸程白紙ニ包ミ

四番目 鬼事

○朝比奈 式人 囃子笛大小太鼓シテ着付白練<sup>(注一)</sup>白上着白練

壺折白大口腰帶白鉢巻乱髪大刀帯テ少

刀大竹杖七ツ道具鬼頭巾夫悪面着付厚板

ツホ折厚板腰帶狂言袴脚伴竹杖七ツ

道具図

○鬮罪人 人数事 シテ熨斗め狂言上下腰帶扇夫悪面主熨

斗め長上下少刀扇後ニ乱髪白ねり壺折

太郎同し立頭立衆熨斗め長上下少刀扇

囃子前ニ同し

○節分 式人 囃子笛大小シテ鬼装束同し女箔美男

帽子女帯黒骨扇作り物竹杖竹ノカハ笠

・首引 人数

シテ鬼装束同アト鬼装束同シ姫カツラ面笄  
女帯鎮西厚板大口放髪ハサラ作り物綱何れも  
持出ル

〔三才〕

◎因幡堂 式人 シテ熨斗め狂言上下女前同シ

○千切木 人数諷事 シテ熨斗め狂言上下女前同シ ○

〔三ウ〕

八尾 式人

噺子笛大小太鼓シテ同シアト罪人の出立面うそ吹  
カウシ頭巾諷事

◎清水 式人

シテ熨斗め狂言上下腰帯面夫悪主前ニ同  
机床作り物竹杖

・神鳴 式人

噺子笛大小シテ鬼頭巾面厚板破被下袴腰帯  
渴鼓撥共ニアト合子頭巾編綴無地熨斗め  
狂言袴作り物針槌腰ニ指出ル傘

五番目 女事

枕物狂 四人

噺子笛大小太鼓シテ面角頭巾小柑子厚板着  
流シ腰帯扇アト式人前ニ同シ女面美男  
帽子帯机床作り物枝枕諷事

比丘貞 三人

諷事 シテ面縹ノ帽子箔女帯中啓アト式人同机床

花子 三人同

シテ装束前素袍厚板少刀扇後乱髪厚  
板壺折テ太郎同シ女美男帽子箔女帯机床

法師母 式人同

シテ懸素袍熨斗め狂言袴後ニ乱髪竹ノ枝  
付カツキ出ル女同シ作り物袋竹

◎鈍太郎 三人

シテ前熨斗め狂言上下後ニ角頭巾編  
綴鉦鼓鐘木共ニ女二人前ニ同シ

◎業平餅 五人

噺子笛大小シテ冠狩衣大口指貫厚板三位  
笠持白鳥茶屋前ニ同シ女面カツラ箔女帯  
カツキ

・伊文字 三人同

シテ熨斗め狂言上下腰帯脚伴管笠前ニ白  
ねりカツキ主前ニ同シ太ら前ニ同シ作り物釣緒

◎柿山伏 式人

笛大小シテトキン鈴懸水衣厚板狂言袴腰  
帯脚半少刀珠数アト同シ机床

六番目 山伏事

・犬山伏 四人

噺子同シシテ同シ肩箱カツキ出ルアト角  
頭巾衣無地熨斗め茶や前同シ犬面

・腰折 三人

噺子同シシテ角頭巾面小格子厚板着流シ  
腰帯京ノ殿山伏装束同シアト同シ作り物杖机床

・梟 三人

噺子同シシテ山伏装束同シツカレ熨斗長下斗  
壺折白鉢巻乱髪アト同シ

・祢宜山伏 四人

笛大小シテ山伏装束同シ祢宜士烏帽子懸素袍熨  
斗め狂言袴脚伴腰帯扇幣茶屋同シ作り

物肩箱机床(ツマ)

宿主前(ツマ)ニ同シ

・カニ山伏 三人 噺子同シ山伏装束同合力カウシ頭巾編綴狂

・悪太郎 三人 シテ前(ツマ)ニ同出家角頭巾無地熨斗め裳鉦鼓

言袴腰帶脚半作り物金剛杖蟹黒頭徳見カ

鐘木塗笠アト前(ツマ)ニ同シ作り物管笠

ケントソカ法被輕棧

(四オ)

⑧

・簀山伏 三人 噺子同シ山伏装束同シ髭 侍ノシメ長上下

少刀扇百生熨斗め狂言上下腰帶作り物篋の

樂阿弥 三人 諷事 笛大小シテ面祖父角頭巾小格子厚板着流シ

内ニ綿ヲ入棒ニテカツキ出ル

扇尺八アトカウシ頭巾無地熨斗め狂言袴脚  
半水衣腰帶間熨斗め長上下少刀扇作り物

末之部

唐相撲 人数事 噺子笛大小太鼓シテ唐冠髭厚板狩衣腰帶

通円 三人同 噺子同シシテ装束同面通円衣ヒシヤク持出ル団  
腰ニ指シアト少刀扇作り物

大口唐団下ニ繻伴輕棧アト唐人不残官人頭巾  
髭繻伴輕棧笠持通任官人頭巾髭熨斗め

遊善 三人同 噺子同シ面祖父角頭巾着流シ作り物竹後傘

狂言袴日本人熨斗め狂言上下脚伴作り物屋

台荒薦

・鞍馬参 式人 主同シシテ太郎同シ

○瓜盗人 式人 噺子同シシテ装束熨斗め狂言上下腰帶扇

○夫悪 三人 主同シ頭巾太刀持出ル太郎同シ夫悪熨斗め

後肩衣替るアト熨斗め狂言上下腰帶扇作り

狂言上下腰帶後ニ乱髪白ねり壺折竹杖

物カッシ烏帽子ウソ吹面懸素袍机床ノ上ニ後に  
自身着る時口伝竹杖

◎文蔵 式人 主同シ太刀持出ル太郎同シ

・居杭 三人 シテ熨斗め狂言上下腰帶頭巾扇主前ニ同シ

◎二千石 式人 同断

算置熨斗め長上下少刀扇羽織ニテモ算袋  
算木算書

・惣八 三人 出家角頭巾裳無地熨斗め着流シ料理人

・悪坊 三人 シテ下ニカウシ頭巾上ニエンヒ髭熨斗め狂言

熨斗め狂言上下腰帶亭主前ニ同シ作り物  
マナイタマナバシホウチヨウ経

袴脚伴腰帶少刀厚板壺折長刀アト合子頭巾  
ヘンテツ無地熨斗め狂言袴シヨロ腰ニ指傘

・柑子 式人 主同シ太郎同シ

◎栗焼 式人 同断

〔五才〕

・慕方角 四人 主同シ太郎同伯父同馬黒頭見徳面繻伴  
輕棧障泥馬氈手綱太刀机床

◎素襖落 三人 主同シ太郎同シ伯父同机床ノ蓋素袍ノ上

◎米市 人数 シテ熨斗め狂言上下腰帶扇棒持出ルアト

熨斗め長上下少刀扇立衆同作り物俵竹杖  
箔

・連歌盗人 三人 シテアト兩人熨斗め狂言上下腰帶扇主同シ太刀

◎三人片輪 四人 主同瘡熨斗め狂言上下腰帶イサリ同

座頭カウシ頭巾無地熨斗めヘンテツ狂  
言袴腰帶作り物編木竹式ツ竹杖

・口真似 三人 主前同シ太郎同シ

◎鬼瓦 式人 主素袍ニテモ長上下ニても太郎同シ

◎舟船 式人 主太郎同シ

◎狐塚 三人 主太郎治郎同シ作り物ナルコ

◎諷果 三人 主太郎同シスツハ

〔五ウ〕

◎井碓 三人 勾当シヤモン帽子裳長ノ下菊都通り手  
作り物竹杖樽

◎伯養 三人 勾当同シ伯養常之座頭主同シ

◎花見座頭 四人 座頭同シ女同シ猿廻シ同猿

◎不聞座頭 三人 主同シ座頭同シ太郎同シ棒ヲワキに置

◎川上座頭 式人 座頭同シ女同シ机床

・文山賊 式人 兩人山立頭巾熨斗め狂言上下作り物鎗弓矢

・磁石 三人 兩人熨斗め狂言上下腰帶宿同シ

・長光 三人 シテ羽織下ヘ手透ヲ懸色々ノ物を付テ置  
アト狂言上下ケンタイ熨斗め長上下少刀

・茶壺 三人 シテ熨斗め狂言上下腰帶アト同シ

茶壺負ルケンタイ同シ

老武者 人数諷事 囃子笛大小シテ初角頭巾面祖父小格子厚

板着流シ腰帶後ニ 児カツラ箔振袖ヌリ  
笠三位カウシ頭巾ヘンテツ狂言袴脚伴

宿長上下立衆長上下也

・醉辛 式人 兩人熨斗め狂言上下腰帶

・太刀奪 三人 主同太郎同通り手同作り物白布綱

〔六才〕

・真奪 三人 同断作り物

◎昆布壳 式人 主常之通太刀持テ売手同シ作り物竹ノ先へ

烏帽子結付出ル也

○竹ノ子 三人 兩人狂言上下中人長上下シテ棒突出ル

・膏藥練 式人 兩人狂言上下作り物紙

○飛越 式人 出家同シアト長上下

・脚痺 式人 シテ狂言上下アト長上下

・富士松 式人 同断

・ふす 三人 兩人狂言上下主長上下

○拵 式人 シテ狂言上下アト長上下

・盆山 式人 シテ同シアト同太刀持出ル

内沙汰 式人 シテ同女イツレモ同作り物机床棒烏帽子太刀

○仁王 人数 シテ前狂言上下脚伴笠後繻伴頭巾アト  
長上下作り物机床散物

・舍弟 三人 シテ狂言上下アト兩人長上下

○千鳥 三人 シテ同アト同シ作り物

・棒介 三人 同断作り物棒さらし繩

○子盗人 三人 シテ同女同子持出ル主同シ太刀持テ出ル

○繩摺 三人 シテ同シアト兩人長上下

○土筆 式人 兩人共ニ狂言上下

・八句連歌 式人 長上下シテ方狂言上下ニても

○胸突 式人 同断

・呂連 三人 出家常之通尤衣ヲ竹ニ挿出ル剃刀角  
頭巾懷中スル亭主長上下女同シ

○伯母酒 式人 シテ同女同シ面風流

○物真似 式人 シテ同主長上下

○呼声 式人 同断

○文荷 三人 兩人狂言上下アト長上下作り物文竹

河原太郎 人数 作り物土器鈴徳

○伊呂波 式人 シテ狂言上下アト長上下

・花争 式人 同断

〔六ウ〕

珍敷狂言

〔七オ〕

○相合烏帽子 笛大小太鼓

薬水 囃子同シシテ前祖父ノ出立後ニ下面見ノ出立



ニテモ亦下面ノ所ヘハマクリノ面児髪ヲ結其  
上ヘ祖父面シコロ頭巾作り物菊ノ花ヲ松風等ノ  
台ニサス

・合柿

◎金藤左衛門 シテエンヒカコクソカヒケツホフリ長刀女常  
之通袋小袖鏡肩ハキカモシ紅皿白粉

○瞽女座頭 シテコセ面カツラ箔女帯黒骨末広座頭常之通

○唐人子宝 シテ官人頭巾ヒケ小格子厚板着流シ腰帶

團子官人頭巾（マツ）儒伴（マツ）輕棧（マツ）團劔箱崎侍烏帽子素  
袍段ノシメ太郎常之通（マツ）机床

○隠狸 式人 シテ狂言上下主長上下作り物

・引く、り

栄螺 笛大小面

蟬 笛大小面

○小傘 笛斗

・茄子 三人

祝音神樂 三人 笛大小

にやく市 人数 笛大小若市クワタウ箔着流シ女帯手ニ

草花持出ル後諷斗烏帽子太刀ハクメ鍔尼  
ツレクハタウカ綿帽子カ住寺（マツ）無地熨斗め  
裳下ニ合子頭巾上ニモウスカクヤ無地熨  
斗め編綴カン後肩トリテ竹杖作（マツ）錠

・半銭 同 笛大小太鼓面

蛸 三人 笛大小前ウソ吹角頭巾着流シ後見徳黒

頭蛸ノ作り物

右珍敷狂言之分ハ急ニ被為仰付候而ハ

難勤御座候此外流（マツ）義ニ無御座候

◎鞠座頭

水汲新発知（マツ） シテ前カウシ頭巾ヘンテツ無地熨斗め狂言

袴腰帶後水衣ヨシ女同前任寺（マツ）同前作り物

融ノ水桶

○釣針

・鏡男

（七ウ）

以上百六拾六番右享保十九寅ノ三月□五日

亦々書上候分寛保式戌ノ八月廿七日

右之書上御用ニ而江山在江戸ニ而相

調松井喜左衛門方ヘ山本平右衛門持參之事

歌仙

筒竹筒

石神

勝栗

（八オ）

- 成上り 弓矢
- 田辺ノ別当口繩太刀
- ・おひやし 牛盗人
- ・搗栗 野老
- 鳴子 柑子俵
- 哥論 二句
- 土筆共哥相撲共
- ひくす 空腹
- 春の少(マ) 餌指
- 浜名納豆 鬼論
- 饅頭 若菜
- ・鬼丸 紺屋吃
- 牛座頭 鶏猫
- 俄同心 角水
- ・張蛸 太鼓負
- 鬼の継子 祇園林共
- 座頭(マ) 人か馬か
- 花合戦 児やふさめ
- もらい髷 樽髷
- 角水髷 鶯
- 山揃 猪狸
- 連哥十徳共 木六駄
- がき十王 万歳太ら
- 姫のり 鹿狩
- 塞翁 忠喜
- 右流左流(正) 木実論
- 柱杖(マ) 六人僧
- 塗付
- 魚説法
- 花盗人
- ・鷹碓 付ケ双六
- 遣子 狸物
- 鎌腹 空腕
- ほうしやうの種 若布
- 昆布施(マ) 塗師
- みめよし 濟頼
- 穂俵 氏結
- 継子山伏 吃
- 三ヶ月 鶏立
- 暇袋 菊の花
- 法師母共 花野共
- 柳樽 鉢た、き
- 寝音曲 人か杭か
- ・長刀あしらい 茶かき
- ・鐘の音 岩橋髷
- 口真似髷 折紙髷
- 水練髷 鶯髷
- 鞍馬髷 斯好髷共
- 寶瘤取 簀潜(正)
- 鈍根草
- 鹿狩 金岡
- 博知十王 受法
- 茶子塩梅 尻法花共
- 帰三梅共 家たうし
- 酒好坊
- 地蔵舞

(八ウ)

- ふき鳥 太子手鉢
- のらい男 松やに
- 見物左衛門 禁野
- 茶拝盃 連負(正)
- 樋酒 横座
- ほうせう うるさし
- 東大名 蕨山伏(クサヒラ)
- 小舞名寄
- 松竹 土車
- 泰山府君 鶉飼
- 餅酒 氷室
- 鞍馬天狗 暁明星
- 常陸帯 雅氣(正)
- 紅葉狩 鎌倉上臈
- 国栖 源氏大将
- 雲林院 若松
- 杉木 鐘旭(マ)
- 五節句 熊坂
- 竹雪 鶉舞
- 羅生門 踊
- 当戸 鶴
- 春雨 放下僧
- 藤戸 小鼓
- 協能語間
- 放生川
- 雪打 三人長者
- 子祭 今神明
- も、け 昆布柿
- 松ゆすり葉 伯郎
- 牛座頭 馬口勞
- 松山鏡 芥川
- 他流ノ鏡男 菴梅
- 松ゆすり葉 住吉
- 三人夫 道明寺
- 鷹厂金 弓矢
- 小督 兔
- 景清 から櫓
- 歌占 糸物細キ
- 藤永 番匠屋
- 融 小山伏
- 舟方 三井寺
- 松舞 安宅観進帳(マ)
- 二人静 千種
- 善知鳥 近江下
- 柳本 檀風
- 山崎通ひ 海士
- 卒都婆 弱法師
- 弓八幡 佐保山
- 鶉羽 老松

(九ウ)





応言百五拾三番

以上

天保三壬辰

正月吉祥日写之

山本甚三郎

直義（花押）

（十三ウ）

〔注1〕 難読。扁は衣偏。「襟」か。

〔注2〕 難読。扁は虫偏。旁は「爰」か。

〔注3〕 難読。扁は革偏。旁は「令」に近い。「鞆」のことか。

〔注4〕 難読。扁は糸偏に近い。旁は「多」。次の字が「卷」なので「小手

卷（緒環）」のことか。